



平成27年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年1月30日

上場取引所 東

上場会社名 ソフトバンク・テクノロジー株式会社
コード番号 4726 URL <http://www.softbanktech.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 CEO (氏名) 阿多 親市

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 CFO 管理統括 (氏名) 長田 隆明

TEL 03-6892-3063

四半期報告書提出予定日 平成27年2月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第3四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第3四半期	28,639	11.5	630	△15.7	620	△17.4	529	61.1
26年3月期第3四半期	25,694	6.9	747	△22.5	751	△34.9	328	△57.4

(注)包括利益 27年3月期第3四半期 565百万円 (38.9%) 26年3月期第3四半期 407百万円 (△46.6%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第3四半期	54.64	54.04
26年3月期第3四半期	33.94	33.58

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
27年3月期第3四半期	20,889	10,561	47.0	1,012.62
26年3月期	19,218	9,629	49.2	977.93

(参考)自己資本 27年3月期第3四半期 9,820百万円 26年3月期 9,464百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	0.00	—	20.00	20.00
27年3月期	—	0.00	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	20.00	20.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年 3月期の連結業績予想(平成26年 4月 1日～平成27年 3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	40,000	8.3	1,250	△8.8	1,250	△8.3	800	25.7	82.60

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

連結業績予想の修正につきましては、本日(平成27年1月30日)公表しました「通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有

新規 2社 (社名) サイバートラスト株式会社、ミラクル・リ
ナックス株式会社、除外 1社 (社名)

(注)詳細は、添付資料P. 6「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (1)当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動」をご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

27年3月期3Q	10,660,100 株	26年3月期	10,640,200 株
27年3月期3Q	961,890 株	26年3月期	961,890 株
27年3月期3Q	9,684,713 株	26年3月期3Q	9,678,310 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

(四半期決算補足説明資料の入手方法について)

四半期決算補足説明資料は同日TDnetで開示するとともに、当社ホームページ(<http://www.softbanktech.co.jp/corp/ir/>)にも掲載します。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	5
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	6
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	6
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	6
3. 四半期連結財務諸表	7
(1) 四半期連結貸借対照表	7
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	9
第3四半期連結累計期間	9
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

	(百万円)			(円)	
	売上高	営業利益	経常利益	四半期 (当期) 純利益	1株当たり 四半期 (当期) 純利益
平成27年3月期第3四半期	28,639	630	620	529	54.64
平成26年3月期第3四半期	25,694	747	751	328	33.94
増減率	11.5%	△15.7%	△17.4%	61.1%	61.0%
(参考) 平成26年3月期	36,951	1,370	1,363	636	65.74

ソフトバンク・テクノロジーグループの当第3四半期連結累計期間における売上高は28,639百万円（前年同期比+11.5%）、営業利益630百万円（前年同期比△15.7%）、経常利益620百万円（前年同期比△17.4%）、四半期純利益529百万円（前年同期比+61.1%）となりました。

主な増減要因は、次のとおりであります。

(a) 売上高

売上高は28,639百万円となり、前年同期と比較して2,944百万円（前年同期比+11.5%）増加しました。当第3四半期において、プラットフォームソリューション事業の機器販売が大きく減少しましたが、一方でマイクロソフトソリューション事業の大型案件、IT基盤構築や運用・保守サービス、さらにセキュリティ関連製品の受注がそれぞれ好調に推移した結果、当第3四半期累計期間においては増収となりました。このほか、平成26年4月にサイバートラスト(株)、平成26年7月にミラクル・リナックス(株)を子会社化したことも売上高の増加に貢献しました。

(b) 限界利益

限界利益は7,575百万円となり、前年同期と比較して2,022百万円（前年同期比+36.4%）増加しました。また、限界利益率は26.4%となり、前年同期と比較して4.8ポイント向上しました。マイクロソフトソリューション事業及びシステムインテグレーション事業が好調に推移したことにより、増益となりました。また、子会社化したサイバートラスト(株)及びミラクル・リナックス(株)は、自社技術を生かした付加価値の高いコンテンツやサービスを提供しており、利益率の向上に貢献しております。

(c) 売上総利益

売上総利益は4,217百万円となり、前年同期と比較して1,466百万円（前年同期比+53.3%）増加しました。システムインテグレーション事業及びマイクロソフトソリューション事業において不採算案件が発生しましたが、当社単体の売上高増加とフロントワークス(株)、(株)環、サイバートラスト(株)、ミラクル・リナックス(株)の子会社化により増益となりました。

(d) 固定費

固定費は6,945百万円となり、前年同期と比較して2,140百万円（前年同期比+44.5%）増加しました。これは主に、当社単体における事業拡大のための人員の増強、本社移転に伴うオフィス関連費用の増加、さらにフロントワークス(株)、(株)環、サイバートラスト(株)、ミラクル・リナックス(株)の子会社増加によるものです。このほか、成長のための投資や子会社の増加に伴い減価償却費が増加しました。

なお、固定費に占める販売費及び一般管理費の割合は、51.7%となります。

(e) EBITDA（注）

EBITDAは1,395百万円となり、前年同期と比較して256百万円（前年同期比+22.6%）増加しました。これは主に、当社単体の売上高の伸長と、子会社の増加によるものです。

（注）EBITDA＝営業損益＋減価償却費＋のれん償却費

(f) 営業利益

上記の結果、営業利益は630百万円となり、前年同期と比較して117百万円減少しました。

(g) 営業外損益

営業外損益は9百万円の損失となり、前年同期と比較して13百万円減少しました。これは主に、投資事業組合運用損及び支払利息の増加によるものです。

(h) 経常利益

上記(f)～(g)の結果、経常利益は620百万円となり、前年同期と比較して131百万円減少しました。

(i) 特別損益

特別損益は246百万円の利益となり、前年同期と比較して372百万円増加しました。これは主に、投資有価証券の売却益によるものです。

(j) 税金等調整前四半期純利益

(h)～(i)の結果、税金等調整前四半期純利益は867百万円となり、前年同期と比較して241百万円（前年同期比＋38.5%）増加しました。

(k) 法人税等合計

法人税等合計は300百万円となり、前年同期と比較して7百万円（前年同期比＋2.6%）増加しました。

(l) 四半期純利益

(j)～(k)の結果、四半期純利益は529百万円となり、前年同期と比較して200百万円（前年同期比＋61.1%）増加しました。

なお、第1四半期より、従前からのセグメントである「イービジネスサービス事業」「ソリューション事業」を統合し、「ICTサービス事業」の単一セグメントに変更いたしました。「ICTサービス事業」を構成する主要なサービスについては、次のとおりであります。

セグメント	サービス区分	主なサービスの内容	主な事業会社の名称	
報告 セグメント	ICT サービス 事業	デジタル マーケティング	<ul style="list-style-type: none"> ・ECサイト運営代行サービスの提供 ・フォントセットの販売、ならびにウェブフォントサービスの提供 ・ウェブサイトのアクセスログ解析ツールや、付随するコンサルティングサービスの提供 	<ul style="list-style-type: none"> ・ソフトバンク・テクノロジー(株) ・フォントワークス(株) ・(株)環 ・亞洲電子商務科技有限公司 ・SOLUTION BUSINESS TECHNOLOGY KOREA Ltd.
		プラットフォーム ソリューション	<ul style="list-style-type: none"> ・サーバ・ストレージ、ネットワークなど、法人企業のIT基盤の構築や付随する運用保守サービスの提供 ・サーバ証明書や端末認証サービス、脆弱性診断サービス等の提供 ・リナックスを中心としたオープンソースソフトウェアのソリューションの提供 	<ul style="list-style-type: none"> ・ソフトバンク・テクノロジー(株) ・サイバートラスト(株) ・ミラクル・リナックス(株)
		システム インテグレーション	<ul style="list-style-type: none"> ・法人企業の情報システムの開発や付随する運用保守サービスの提供 ・マイクロソフト社クラウドサービス移行支援や、自社サービスの提供 ・モバイルアプリケーションサービスの提供 	<ul style="list-style-type: none"> ・ソフトバンク・テクノロジー(株) ・M-SOLUTIONS(株) ・モバイルインターフェイス(株)

① デジタルマーケティング

(百万円)

	前年同期	当第3四半期	増減	増減率
売上高	13,490	14,011	520	3.9%
限界利益	2,044	2,002	△42	△2.1%

＜ 当事業を構成する主なサービス ＞

- ・シマンテックストア、ウェブフロント、外貨決済サービス等、ECサービスの提供
- ・Adobe Analytics、Google Analytics Premium、sibulla等、ウェブ解析サービスの提供
- ・SIGNAL Consulting等、データアナリティクスサービスの提供

＜ 当事業の業績概況 ＞

当事業の売上高は14,011百万円となり、前年同期と比較して520百万円（前年同期比+3.9%）増加しました。これは主に、データ解析事業におけるAdobe社やGoogle社のウェブアクセス解析ツール及びそのコンサルティングサービスが好調に推移したことによるものです。また、平成25年6月にフォントワークス(株)及び(株)環を子会社化したことにより売上高が増加しました。

限界利益は2,002百万円となり、前年同期と比較して42百万円（前年同期比△2.1%）減少しました。データ解析事業は好調に推移したものの、シマンテックストア事業の利益低下を補いきれず、減益となりました。

② プラットフォームソリューション

(百万円)

	前年同期	当第3四半期	増減	増減率
売上高	7,606	8,590	984	12.9%
限界利益	1,631	2,981	1,349	82.7%

＜ 当事業を構成する主なサービス ＞

- ・Cisco、hp、Vmware等の製品を活用したIT基盤の構築、運用保守サービスの提供
- ・McAfee、FireEye、ForeScout等の製品を活用したセキュリティ基盤の構築、保守サービスの提供
- ・サーバ証明書、デバイス認証、脆弱性診断サービス等、セキュリティサービスの提供

＜ 当事業の業績概況 ＞

当事業の売上高は8,590百万円となり、前年同期と比較して984百万円（前年同期比+12.9%）増加しました。これは主に、FireEye等のセキュリティ製品に関する受注が増加したことによるものです。また、サイバートラスト(株)及びミラクル・リナックス(株)を子会社化したことも増収に寄与しております。

限界利益は2,981百万円となり、前年同期と比較して1,349百万円（前年同期比+82.7%）増加しました。プラットフォームソリューション事業におけるIT基盤構築案件の増加と機器販売の減少により、限界利益率が改善しました。このほか、セキュリティ事業の売上高が伸長したことに加え、サイバートラスト(株)とミラクル・リナックス(株)を子会社化したことで増益となりました。

③ システムインテグレーション

(百万円)

	前年同期	当第3四半期	増減	増減率
売上高	4,597	6,037	1,439	31.3%
限界利益	1,875	2,591	715	38.2%

＜ 当事業を構成する主なサービス ＞

- ・法人企業向けの情報システムの開発、運用保守サービスの提供
- ・マイクロソフト社「Office 365」「SharePoint」「Microsoft Azure」関連サービスの提供
- ・上記に付随した自社サービス「Online Service Gate」「ADFS on Cloud」等の提供

＜ 当事業の業績概況 ＞

当事業の売上高は6,037百万円となり、前年同期と比較して1,439百万円（前年同期比+31.3%）増加しました。当社の成長戦略のひとつとして推進してきた技術者リソースの集中投入が奏功し、情報システム開発案件やマイクロソフトソリューションが好調に推移しました。また、自社サービスである「Online Service Gate」や「ADFS on Cloud」等の契約社数も順調に推移した結果、増収となりました。

限界利益は2,591百万円となり、前年同期と比較して715百万円（前年同期比+38.2%）増加しました。これは主に、システムインテグレーション事業及びマイクロソフトソリューション事業が好調に推移したことで、売上高が伸長したことによるものです。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

(百万円)

	平成26年3月期	平成27年3月期第3四半期	(参考) 平成26年3月期第3四半期
総資産	19,218	20,889	17,083
純資産	9,629	10,561	9,289
自己資本比率	49.2%	47.0%	53.5%

(資産の部)

当第3四半期連結会計期間末の資産は、前連結会計年度末より1,671百万円増加して20,889百万円となりました。流動資産は、受取手形及び売掛金の減少はありましたが、現金及び預金の増加などにより、前連結会計年度末より352百万円増加しました。

固定資産は、子会社株式取得に伴うのれん、ソフトウェアの増加などにより、前連結会計年度末より1,318百万円増加しました。

(負債の部)

当第3四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末より739百万円増加して10,328百万円となりました。

流動負債は、買掛金の減少などにより、前連結会計年度末より327百万円減少しました。

固定負債は、長期借入金の増加などにより、前連結会計年度末より1,066百万円増加しました。

(純資産の部)

当第3四半期連結会計期間末の純資産は、少数株主持分の増加などにより、前連結会計年度末より931百万円増加して10,561百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

最近の業績動向を踏まえ、平成26年4月24日に公表した平成27年3月期の連結業績予想を修正しました。

詳細につきましては、本日（平成27年1月30日）公表しました「通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

第1四半期連結会計期間において、サイバートラスト(株)の株式を取得したため、連結の範囲に含めております。

また、第2四半期連結会計期間において、ミラクル・リナックス(株)の株式を取得したため、連結の範囲に含めております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,830,820	5,684,618
受取手形及び売掛金	7,136,219	5,240,417
商品	39,904	191,223
仕掛品	117,382	476,963
繰延税金資産	210,848	268,289
その他	1,315,343	1,141,352
貸倒引当金	△8,360	△8,526
流動資産合計	12,642,158	12,994,338
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	458,601	559,470
工具、器具及び備品(純額)	900,937	906,496
建設仮勘定	39,946	—
有形固定資産合計	1,399,485	1,465,967
無形固定資産		
のれん	961,533	1,411,280
ソフトウェア	766,458	1,115,149
ソフトウェア仮勘定	171,117	107,593
顧客関連資産	718,474	670,576
その他	13,121	318,839
無形固定資産合計	2,630,706	3,623,438
投資その他の資産		
投資有価証券	1,078,723	1,133,855
繰延税金資産	242,023	319,616
その他	1,283,730	1,409,956
貸倒引当金	△58,460	△57,703
投資その他の資産合計	2,546,017	2,805,725
固定資産合計	6,576,208	7,895,131
資産合計	19,218,367	20,889,469

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	4,804,803	3,925,301
1年内返済予定の長期借入金	4,200	324,600
リース債務	93,717	90,578
未払金	1,439,272	890,714
未払法人税等	283,825	129,785
賞与引当金	389,128	233,531
受注損失引当金	1,087	43,859
その他	891,756	1,941,827
流動負債合計	7,907,790	7,580,199
固定負債		
社債	200,000	100,000
長期借入金	8,450	1,071,300
リース債務	572,198	521,687
繰延税金負債	179,659	158,545
長期前受金	333,947	365,645
負ののれん	896	—
退職給付に係る負債	56,510	105,093
資産除去債務	163,156	249,306
その他	166,460	176,460
固定負債合計	1,681,278	2,748,039
負債合計	9,589,069	10,328,238
純資産の部		
株主資本		
資本金	634,555	645,033
資本剰余金	712,204	722,682
利益剰余金	8,728,873	9,064,466
自己株式	△747,634	△747,634
株主資本合計	9,327,999	9,684,547
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	135,180	133,301
為替換算調整勘定	1,576	2,788
その他の包括利益累計額合計	136,756	136,089
新株予約権	51,113	76,960
少数株主持分	113,428	663,632
純資産合計	9,629,297	10,561,230
負債純資産合計	19,218,367	20,889,469

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)
売上高	25,694,922	28,639,628
売上原価	22,943,649	24,421,767
売上総利益	2,751,272	4,217,860
販売費及び一般管理費	2,003,983	3,587,801
営業利益	747,288	630,059
営業外収益		
受取利息	6,272	497
受取配当金	5,740	4,080
持分法による投資利益	—	8,172
為替差益	—	32,050
雑収入	11,372	8,752
営業外収益合計	23,384	53,553
営業外費用		
支払利息	2,361	23,169
投資事業組合運用損	—	37,643
為替差損	9,377	—
支払手数料	3,000	—
雑損失	4,414	2,295
営業外費用合計	19,153	63,108
経常利益	751,520	620,504
特別利益		
投資有価証券売却益	—	263,436
特別利益合計	—	263,436
特別損失		
投資有価証券売却損	—	15,769
減損損失	6,131	687
本社移転費用	119,170	—
特別損失合計	125,301	16,457
税金等調整前四半期純利益	626,218	867,482
法人税、住民税及び事業税	254,354	358,139
法人税等調整額	38,975	△57,235
法人税等合計	293,330	300,904
少数株主損益調整前四半期純利益	332,888	566,578
少数株主利益	4,373	37,418
四半期純利益	328,514	529,159
少数株主利益	4,373	37,418
少数株主損益調整前四半期純利益	332,888	566,578
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	73,211	△1,878
為替換算調整勘定	1,459	1,211
その他の包括利益合計	74,670	△666
四半期包括利益	407,558	565,911
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	403,184	528,492
少数株主に係る四半期包括利益	4,373	37,418

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

セグメント情報

1. 前第3四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年12月31日)

「2. 当第3四半期連結累計期間(報告セグメントの変更等に関する事項)」に記載のとおりであります。

2. 当第3四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年12月31日)

当社グループは、ICTサービス事業の単一のセグメントであるため、記載を省略しております。

(報告セグメントの変更等に関する事項)

前連結会計年度において、報告セグメント情報における事業区分は「イービジネスサービス事業」、「ソリューション事業」の2つに区分しておりましたが、平成26年4月1日に更なる成長のために全社一丸となることを意図した「One SBT」のコンセプトのもと社内組織改編を行い、事業部制を廃止し、報告事業単位が一つとなったため、第1四半期連結会計期間より単一の事業区分となりました。